

日本細菌学会 平成 29 年評議員会議事録

日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）16 時 00 分～17 時 30 分

会場：東北大学片平キャンパス片平さくらホール 会議室 A/B

記録：山口博之、高井伸二

I. 評議員会議長・副議長の挨拶

中野評議員会議長と赤池副議長から平成 29 年度の本会開催の挨拶と、評議員会の成立条件（65 名以上/129 名）に対して、58 名の委任状と 44 名の出席が報告された。

II. 理事長挨拶

堀口理事長から開催に際しての挨拶があり、理事会最終年となったこと、法人化に向けての議論の経緯と来期へのロードマップが触れられた。

III. 総会長挨拶

赤池大会長から、19 日から 3 日間開催される 90 回大会の概要と、要旨集へのアクセスに関するトラブルについてのお詫びがあった。

IV 会務報告

(1) 会員の現況（川端理事）

平成 29 年度第 2 回理事会資料 20 頁の記載にある、名誉会員 40 名、正会員 1833 名、学生会員 525 名、賛助会員 37 社の報告があった。

(2) 各種委員会活動（中川理事、八木理事）

○広報（中川理事）：総会のアンケート調査について回答依頼があった。

○選挙関連（八木理事）：役員選挙の電子化、選挙名簿の会員名簿登録、用語集の web 版への移行に関する報告があった。

○学会誌（大西理事）：2016 年度は 4 号、2017 年度も 4 号の発刊と Pubmed 掲載誌としての費用に関する報告があった。

○IUMS（古西理事）

IUMS の合同大会が本年 7 月 17 日から 21 日までシンガポールで開催予定との報告があった。

○日韓シンポ（桑野理事）：来年 3 月開催で、91 回総会に組み入れることを林大会長に依頼した。韓国の担当者は朴教授。

○次世代教育（松下理事）：第 10 回細菌学若手コロッセウムが群馬大学・富田教授のお世話で平成 28 年 7 月 31 日～8 月 2 日、57 名の参加者の出席により開催された。その内容は本大会でもシンポジウムとして報告される。第 11 回は筑波大学の野村暢彦教授が代表世話人として、平成 29 年 8 月 2 日から 4 日に開催予定。

初等教育については、千葉大・野田教授のご尽力で昨年度も継続した。21 校で実施し、3018 名の受講者数であった。今後の在り方については、支部でのアンケート調査を実施したい。

○MI 誌（川端理事）：投稿論文数、3 つの分野における採用決定経過日数などの比較、3 学会での負担金と減額（120 万が 35 万）、ロイヤルティ（4 から 8%）

などが報告された。

- (3) 名誉会員選考経過（光山委員長）
光山委員長から太田房雄先生と小熊恵二先生の名誉会員選考経過の説明があり、承認された。
- (4) 学会賞選考過程（中根委員長）
中根委員長から、浅川賞・中山浩次先生、黒屋奨励賞・住友倫子先生の選考経過の説明が有り、承認された。
- (5) 第91回総会準備状況（林理事）
日韓国際微生物学シンポジウムを含めた総会となること等、準備状況の報告があった。
- (6) その他（川端理事）
法人化WG・理事会で1年間検討し、定款、細則などを準備した。移行時期は、2019年を予定しており、パブコメなども聴取し、平成29年度（30年3月）の評議員会と会務総会で決議することとなる。法人法に基づいた任期に従うため、本年の選挙で選出された役員における任期に伴った諸問題等、ご意見を求める。

V. 議事

(1) 第92回総会長

山口博之・北大教授が第92回総会長として承認された。

(2) 平成28年度収支決算（堀口理事長）

資料1-3頁を用いて、平成28年度収支決算が堀口理事長から各種報告された。緊縮財政執行により赤字が解消され、140万余の黒字となった。承認された。

(2-2) 平成28年度監査報告（三宅理事・大原理事）

2名の監事による会計監査が実施され、適切に執行されている旨が報告された。

(3) 平成29年度収支予算（堀口理事長）

資料4-6頁を用いて、平成29年度収支予算案が堀口理事長から提案された。過去5年間で三千万余の赤字となっており、今期理事会では支出を抑えて赤字額を減らすことを目標にした。会員数減少の傾向が続き、会費収入改善も望めない状況であり、予算案では、地方支部会への支出含め、各種できる限り削減の方向で策定したとのことであった。

また、本部で徴収した支部会費について審議したい旨も述べられた。

支部会費は、まずは本部で仮受けし、その後各支部に分配してきた。支部会費制度を撤廃した本年には仮受金が全て無くなるはずだが、154,815円が浮いていることが判明した。分配時期の問題ですぐに気づくことができず、また、調査したが、どの時期から浮いているかが不明である。この費用は会費収入に組み入れることを提案したい。

浮いた支部会費の取り扱いを含め、承認された。

(4) 細則改訂（選挙細則、名誉会員選考細則）（堀口理事長）

1) 名誉会員選考細則の改訂

軽微な文言を1箇所修正したことが述べられた。承認された。

2) 選挙細則の改訂

堀口理事長より、資料7-11頁の改訂内容（赤字）に関する説明があった。

二つの細則改訂に関する質問はなく、承認された。

(5) その他 なし

中野議長・赤池副議長から、評議員会終了の挨拶がなされた。